

3. 市立幼稚園について

- (1) 「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」の素案をゼロベースで見直すことについて
- (2) 将来ビジョンとともに、市立幼稚園で3歳保育の実施、預かり時間の延長を

【答弁】

3. 市立幼稚園についての(1)(2)につきましては関連連いたしますので、一括してお答えいたします。

富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針(素案)につきましては、本市における市立幼稚園の園児数の減少や、保育所の待機児童問題などを一体的に検討し、今後の市の進めるべき方針策定に向けて素案をお示しさせていただきました。パブリックコメントの提出数は606通で1,200件以上のご意見をいただきました。様々なご意見を頂戴する中で、園児が減少する状況で園を集約することは理解できるとのご意見もありましたが、最も多いご意見は、廃園の考えをお示ししている4園の存続を求めるとのご意見でございます。

また、素案の中で廃止の考えをお示ししている4園の地域から最終集計で、1万8千649筆におよぶ廃園反対の署名を受理しております。

各地域での説明会は延べ19回で445人の方にご参加いただき、廃止をお示しした4園の地域では、廃園反対、まずは3年保育と預かり時間延長を希望するご意見を多く頂戴いたしました。また、廃園となれば遠くの園まで通うこととなり、送迎のためのバスの運行を希望するご意見も多く頂戴いたしました。存続をお示しした6園の地域では、保育室のエアコン設置、給食の実施、長期休業中も含めての預かり保育の実施などを希望するご意見を頂戴いたしました。

さらに、昨年12月議会におきまして、「富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針(素案)における市立新堂幼稚園の廃園に反対する請願書」及び「富田林市立幼稚園(伏山台・川西・彼方)の3園の廃園に反対する請願書」が賛成多数で採択されました。

これら市民の方や議会のご意見を重く受け止めさせていただき、市の新しい体制のもと、富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針の素案につきましては、ゼロベースで見直すことといたしました。

これまでの経緯につきましては、今後、各幼稚園で説明会を開くなど、丁寧にご説明してまいりたいと考えております。またその際には、新案の構築に向けて保護者、地域の皆様のご意見を伺いたいと考えております。

その後につきましては、3歳保育の実施、預かり時間の延長など、市立幼稚園における課題解決のため、できるだけ早い時期に新たな案をお示ししたいと考えております。